

8 0 2 0 推進アンバサダー養成事業評価書

一般社団法人大阪府歯科医師会

目次

1. 事業の概要	P. 1
1) 事業目的	P. 1
2) 対象	P. 1
3) 実施期間	P. 1
4) 実施内容	P. 1
2. 事業結果	P. 2
1) 事業実施検討委員会の実施	P. 2
2) 啓発資料、8020推進アンバサダー活動ガイドラインの作成	P. 3
3) 講師養成研修会の実施	P. 4
4) 8020推進アンバサダー養成研修会の実施	P. 5
5) 8020推進アンバサダー養成研修会の参加者及び アンケート調査結果	P. 10
6) 8020推進アンバサダー活動状況調査の実施	P. 15
7) アンケート調査と活動状況調査まとめ	P. 23
3. 3年間のまとめ	P. 24

1. 事業の概要

1) 事業目的

歯と口は、食べる、飲み込む、話すなど、人間の基本的かつ重要な役割を担っている。しかしながら、成人期になると多くの人がむし歯を経験し、歯周病を有する人は年齢とともに増加していく。そして、歯周病は、中高年以降の歯を失う主要な原因であると言われている。

生涯にわたって健やかで心豊かに生活するためには、自分の歯で何でも食べることができるよう、日ごろから府民一人一人が歯と口の健康づくりを心掛けることが必要である。そのため、大阪府と（一社）大阪府歯科医師会をはじめとした歯科保健関係機関は、府民が80歳になっても20本以上自分の歯を有することが出来るよう8020（はちまるにいまる）運動を推進してきた。

その結果、大阪府の8020達成者率（80歳で自分の歯を20本以上持つ人の割合）は増加傾向にある。しかしながら、歯周治療が必要な者の割合は、第2次大阪府歯科口腔保健計画策定時のベースライン値（平成27年）よりも悪化しており、大阪府の40歳における歯周治療が必要な者の割合は50.9%（令和3年）となった。

大阪府の8020達成者率の更なる向上のためには、歯の主な喪失原因となる歯周病の罹患状況の改善が求められているが、初期の歯周病は自覚症状が少ないこともあり、府民一人一人が歯科疾患に対する早期発見・早期治療の意識を持つことが重要である。また、歯と口の健康は全身の健康と関連することから、府民の歯科の意識の向上のためには、歯科以外の様々な健康づくりの取組に関連させた歯科啓発を幅広く行うことが効果的であると考えられる。

そこで、「8020推進アンバサダー養成事業」は、府民の健康づくりに関わる保健医療関係者を「8020推進アンバサダー」として養成し、「8020推進アンバサダー」が既存の取組みと連携した歯科の啓発を促進することにより、府民の歯科口腔保健の意識向上を目的とし、令和4年度より3ヶ年で実施した事業である。

2) 対象

地域の保健医療関係者

3) 実施期間

令和4年度～令和6年度（3ヶ年）

4) 実施内容

- (1) 事業実施検討委員会の実施
- (2) 啓発資料、8020推進アンバサダー活動ガイドラインの作成
- (3) 講師養成研修会の実施
- (4) 8020推進アンバサダー養成研修会の実施
- (5) 8020推進アンバサダー活動状況調査の実施

2. 事業結果

1) 事業実施検討委員会の実施

(1) 令和4年度実施概要

第1回

【開催日時】 令和4年6月7日（火）18時30分～

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【内 容】 事業概要と事業計画について

啓発資料及び8020推進アンバサダー活動ガイドラインの検討

講師養成研修会及び8020推進アンバサダー養成研修会の検討

第2回

【開催日時】 令和4年9月20日（火）18時30分～

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【内 容】 啓発資料及び8020推進アンバサダー活動ガイドラインの検討

講師養成研修会及び8020推進アンバサダー養成研修会の検討

第3回

【開催日時】 令和5年2月21日（火）18時30分～

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【内 容】 啓発資料及び8020推進アンバサダー活動ガイドラインの検討

8020推進アンバサダー養成研修会の実施報告及び課題分析

次年度事業の検討

令和4年度検討委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

	氏 名	所 属
委員長	山本 道也	（一社）大阪府歯科医師会 常務理事
委員	土居 貴士	（学）大阪歯科大学口腔衛生学講座 准教授
〃	坂中 哲人	（国）大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学教室 助教
〃	藤井 照代	（公社）大阪府看護協会 教育研修部 部長
〃	橋本 通子	（公社）大阪府栄養士会 地域活動部会 参与
〃	間狩みな子	（公社）大阪府歯科衛生士会 常務理事
〃	北垣 英俊	（一社）大阪府歯科医師会 理事
〃	岩本 治	（一社）大阪府歯科医師会 理事

(2) 令和5年度実施概要

第1回

【開催日時】 令和5年5月23日（火）19時～

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【内 容】 事業概要と事業計画について

講師養成研修会及び8020推進アンバサダー養成研修会の内容
検討

8020推進アンバサダー活動状況調査の内容検討

第2回

【開催日時】 令和6年2月15日（木）19時～

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【内 容】 8020推進アンバサダー養成研修会の実施報告及び課題分析

8020推進アンバサダー活動状況調査結果の報告及び分析

次年度事業の検討

令和5年度検討委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

	氏 名	所 属
委員長	山本 道也	（一社）大阪府歯科医師会 常務理事
委員	土居 貴士	（学）大阪歯科大学口腔衛生学講座 准教授
〃	坂中 哲人	（国）大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学講座 助教
〃	山口世志子	（公社）大阪府看護協会 地域包括ケア事業部 部長
〃	橋本 通子	（公社）大阪府栄養士会 参与
〃	間狩みな子	（公社）大阪府歯科衛生士会 副会長
〃	北垣 英俊	（一社）大阪府歯科医師会 常務理事
〃	岩本 治	（一社）大阪府歯科医師会 理事

（３）令和6年度実施概要

第1回

【開催日時】令和6年5月21日（火）19時～

【開催場所】大阪府歯科医師会館

【内 容】事業概要と事業計画について

講師養成研修会と8020推進アンバサダー養成研修会の内容検討
8020推進アンバサダー活動状況調査の内容検討

第2回

【開催日時】令和7年1月28日（火）19時～

【開催場所】大阪府歯科医師会館

【内 容】事業評価書素案の検討

第3回

【開催日時】令和7年2月25日（火）19時～

【開催場所】大阪府歯科医師会館

【内 容】事業評価書案の検討

令和6年度検討委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

	氏 名	所 属
委員長	山本 道也	（一社）大阪府歯科医師会 常務理事
委員	土居 貴士	（学）大阪歯科大学口腔衛生学講座 准教授
〃	坂中 哲人	（国）大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学講座 助教
〃	山口世志子	（公社）大阪府看護協会 事業部 地域包括ケア担当部長
〃	橋本 通子	（公社）大阪府栄養士会 参与
〃	間狩みな子	（公社）大阪府歯科衛生士会 副会長
〃	北垣 英俊	（一社）大阪府歯科医師会 常務理事
〃	岩本 治	（一社）大阪府歯科医師会 理事

2）啓発資料、8020推進アンバサダー活動ガイドラインの作成

令和4年度の事業実施検討委員会にて以下の資料を作成した。

（１）啓発資料（7種類）

保健医療関係者が府民向けに使用できる歯科の内容を絡めた啓発資料

- ・乳幼児（1～3歳）の成長と歯とお口の健康
- ・幼児（3歳～就学前）の食事と歯とお口の健康
- ・特定健診と歯とお口の健康①
- ・フレイルとオーラルフレイル
- ・幼児期から小学生の事故防止
- ・糖尿病と歯周病の関係
- ・特定健診と歯とお口の健康②

(2) 8020推進アンバサダー活動ガイドライン

啓発資料に関する保健医療関係者向けの解説書

3) 講師養成研修会の実施

圏域内で8020推進アンバサダー養成研修会の運営を担う地区歯科医師会の歯科医師及び歯科衛生士に対して、研修会の実施方法等について説明を行った。

【説明内容】

- ・事業背景と事業概要
- ・地区における事業実施スケジュール
- ・事業費の内訳と取り扱い
- ・研修会実施に係る注意点やポイント
- ・啓発資料やガイドラインを使用した研修会の実施方法

(1) 令和4年度実施概要

【開催日時】 令和4年10月18日（火）19時～20時

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【講師】	(一社)大阪府歯科医師会	常務理事	山本	道也
	(一社)大阪府歯科医師会	理事	北垣	英俊
	(一社)大阪府歯科医師会	理事	岩本	治
	(公社)大阪府歯科衛生士会	常務理事	間狩	みな子

【参加者】 3名
(東地区)

(2) 令和5年度実施概要

【開催日時】 令和5年6月13日（火）18時30分～19時30分

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【講師】	(一社)大阪府歯科医師会	常務理事	山本	道也
	(一社)大阪府歯科医師会	常務理事	北垣	英俊
	(一社)大阪府歯科医師会	理事	岩本	治
	(公社)大阪府歯科衛生士会	副会長	間狩	みな子

【参加者】 9名
(吹田地区2名、茨木地区1名、柏原地区4名、富田林地区2名)

(3) 令和6年度実施概要

【開催日時】 令和6年6月18日（火）19時～20時

【開催場所】 大阪府歯科医師会館

【講師】	(一社)大阪府歯科医師会	常務理事	山本	道也
	(一社)大阪府歯科医師会	常務理事	北垣	英俊
	(一社)大阪府歯科医師会	理事	岩本	治
	(公社)大阪府歯科衛生士会	副会長	間狩	みな子

【参加者】 9名
(枚方地区2名、堺地区4名、岸和田地区3名)

4) 8020推進アンバサダー養成研修会の実施

啓発資料や８０２０推進アンバサダー活動ガイドラインを用いて、地域の保健医療関係者を対象に研修会を実施した。

研修会の周知は（公社）大阪府看護協会、（公社）大阪府栄養士会等に協力を仰ぎ、各団体の会員へ周知をお願いした。

(1) 令和4年度実施概要

第1回

【開催日時】 令和4年12月14日（水）13時30分～14時50分

【開催場所】大阪府歯科医師会館

【講師】（一社）大阪市東歯科医師会 大橋 保彦
 歯科衛生士 畠 幸子
 歯科衛生士 奥田 未容

【研修内容】事業概要、事業目的の説明
ガイドラインの構成、使用方法の説明
啓発資料、ガイドラインの歯科に関する内容の解説及び使用デモ
質疑応答

【参加者】11名（保健師1名、看護師2名、管理栄養士8名）

第2回

【開催日時】令和5年1月25日（水） 13時30分～14時50分

【開催場所】大阪府歯科医師会館

【講 師】（一社）大阪市東歯科医師会
 歯科衛生士
 山下 幸樹
 畠 幸子
 歯科衛生士
 戸田 ちか子

【研修内容】第1回研修会の内容説明、補足説明
受講者による啓発資料の活用に関する発表、意見交換

【参加者】7名（保健師1名、管理栄養士6名）

【意見交換の内容、事後評価】

- ・既存の健康教室で歯科的内容（離乳食の話題の中に乳歯の口腔内清掃、仕上げ磨きの必要性）の追加を試みられた方や、企業内における既存の保健指導の部分で啓発資料を独自にアレンジし取り入れておられる方、この運動をまずは自分たちのグループ内でSNS等を使い広く周知、情報共有された方など、受講者ごとに歯科に対する意識の向上につながり、それぞれのフィールドでアンバサダーとしての活動の広がりが感じられた。
- ・看護協会では、研修会参加者だけでなく、会の内部でも啓発資料、ガイドブックの使い方の周知をされた。
- ・多職種（言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、薬剤師等）にも啓発が広がればよいのではないかとの声もあった。
- ・一方で、今後の活動におけるサポート面で不安を抱えられている部分も見受けられ、今後のフォローアップ等への希望もあった（予算、人員配置等の問題）。

(2) 令和5年度実施概要

ア) 豊能圏域

第1回

【開催日時】令和5年10月13日(金) 13時～14時

【開催場所】吹田市口腔ケアセンター

【講師】(一社)吹田市歯科医師会 会長 三木 秀治
歯科衛生士 吉村 明子
歯科衛生士 増田 昌子

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインに沿って説明
啓発資料の使用デモ

【参加者】8名(保健師1名、管理栄養士7名)

第2回

【開催日時】令和5年11月10日(金) 13時～14時

【開催場所】吹田市口腔ケアセンター

【講師】(一社)吹田市歯科医師会 会長 三木 秀治
歯科衛生士 吉村 明子
歯科衛生士 増田 昌子

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインの補足説明
グループワーク「担当する教室等で取り入れることができるか」
意見交換

【参加者】9名(保健師1名、管理栄養士8名)

【意見交換の内容、事後評価】

- ・高齢者対象の教室でオーラルフレイルの資料を活用したい。
- ・啓発資料の内容について、その根拠の説明がほしい。
- ・歯ブラシの喉突き事故や歯の脱落について、保護者への説明の機会がある時にしていきたい。
- ・糖尿病の方の食事指導時に歯周病のことも説明したい。

イ) 三島圏域

第1回

【開催日時】令和5年10月12日(木) 14時～15時30分

【開催場所】茨木市保健医療センター

【講師】(一社)茨木市歯科医師会 副会長 柚木 求見
茨木歯科衛生士会 会長 大森 和子
茨木歯科衛生士会 森本 ゆかり

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインに沿って説明

【参加者】8名(看護師1名、管理栄養士6名、事務1名)

第2回

【開催日時】令和5年11月2日(木) 14時～15時30分

【開催場所】茨木市保健医療センター

【講師】(一社)茨木市歯科医師会 副会長 柚木 求見
(公社)大阪府歯科衛生士会 会長 山口 千里
茨木歯科衛生士会 会長 大森 和子

【研修内容】前回の研修の復習、啓発資料の使用デモ、意見交換

【参加者】10名(看護師2名、保健師1名、管理栄養士6名、事務1名)

【意見交換の内容、事後評価】

- ・歯について相談されると回答できず、歯科医院へ行くように勧めていたが、知識をつけて相談に乗ることができるよう研修会に参加したので、実際に活用したい。
- ・ドラッグストア内に健康ステーションを立ち上げて、オーラルフレイルの啓発を行っていたが、研修で知った口の体操を取り入れたことで、楽しく指導することができた。
- ・幼児の食事について悩んでいる保護者が多く、栄養面だけでなく、歯についてもアドバイスをしていきたい。
- ・介護予防教室などで講話を行っているが、スライドの中に資料を入れて活用し、歯科へつなげていきたい。
- ・特定健診の保健指導を行う中で今まで歯科について話をしたことがなかったが、糖尿病と歯周病の関係について話していきたい。
- ・看護師の方からは、施設や病院での口腔ケアについて学びたい、研修会を行ってほしいという要望があった。

ウ) 中河内圏域

第1回

【開催日時】令和5年9月14日(木) 14時～15時30分

【開催方法】WEB開催(Zoom)

【講師】(一社) 柏原市歯科医師会 会長 藤本 喜之
(学) 玉手山学園 関西女子短期大学歯科衛生学科 准教授 花谷 早希子
(学) 玉手山学園 関西女子短期大学歯科衛生学科 講師 古賀 恵

【研修内容】8020推進アンバサダー活動ガイドラインに沿って説明
(口腔の解剖・生理・発生、ライフステージに応じた8020達成の
為の対応策)、啓発資料の使用デモ

【参加者】7名(看護師3名、保健師2名、管理栄養士2名)

第2回

【開催日時】令和5年11月7日(火) 14時～16時30分

【開催場所】柏原市立保健センター

【講師】(学) 玉手山学園 関西女子短期大学歯科衛生学科 教授 細見 環
(学) 玉手山学園 関西女子短期大学歯科衛生学科 准教授 花谷 早希子
(学) 玉手山学園 関西女子短期大学歯科衛生学科 講師 古賀 恵

【研修内容】8020達成の意義と前回の復習
口腔ケアの実際・咀嚼能力測定・口腔体操 実技
口腔清掃具の説明、意見交換

【参加者】4名(看護師1名、保健師1名、管理栄養士2名)

【意見交換の内容、事後評価】

- ・参加者の歯科保健に対する認識、啓発に対する心構えに変化が見られた。
- ・座学だけでなく、機器を用いた実技実習も行うことで意欲的に受講された。
今後の各職種での活動に取り入れられることが期待される。

エ) 南河内圏域

第1回

【開催日時】令和5年10月24日(火) 14時～15時

【開催場所】富田林市民会館 農林会議室

【講師】(一社) 富田林歯科医師会 副会長 宋 連玉
(公社) 大阪府歯科衛生士会 幹事 橋場 佳子
(公社) 大阪府歯科衛生士会 常務理事 松井 貴美

【研修内容】事業説明

歯科衛生士による保護者への指導例

（乳幼児の成長と歯とお口の健康、幼児期から小学生の事故防止）

歯科衛生士による成人への指導例（特定健診とお口の健康）

質疑応答

【参加者】11名（看護師2名、保健師5名、管理栄養士4名）

第2回

【開催日時】令和5年11月14日（火） 14時～15時30分

【開催場所】富田林市民会館 農林会議室

【講師】（一社）富田林歯科医師会 副会長 宋 連玉

（公社）大阪府歯科衛生士会 訪問口腔健康管理委員会アドバイザー

臼本 鏡子

（公社）大阪府歯科衛生士会 幹事 橋場 佳子

【研修内容】参加保健師による保護者への指導デモ（幼児の食事と歯とお口の健康）

参加管理栄養士による成人への指導デモ（糖尿病と歯周病の関係）

参加保健師による介護者への指導デモ（フレイルとオーラルフレイル）

グループディスカッション、質疑応答

【参加者】12名（看護師1名、保健師7名、管理栄養士4名）

【意見交換の内容、事後評価】

- ・富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村の4か所の自治体からの参加者があったため、グループワークでは各地域の取り組みの情報交換ができて参考になったようである。
- ・啓発ツールを府民の健康指導時に有効に利用する方法（指導終了時に府民に手渡し指導文書に印刷しておく）を参加者の管理栄養士より提案いただく等、通常の研修会より具体的テクニックの紹介の多い研修会であった。
- ・若い参加者が多く、ベテランによるデモンストレーションは指導内容だけでなく言葉かけや雰囲気づくりの参考にもなったようであった。
- ・歯磨きやおやつに関することだけではなく、口腔機能発育不全や機能低下の予防に歯科からも有効な指導ができることを認識していただけた。
- ・「痛くなってから歯医者へ」という従来の歯科に対するイメージを「痛くなる前に歯医者へ」に変えてもらう意味と有効性を理解していただけた。

（3）令和6年度実施概要

ア）北河内圏域

第1回

【開催日時】令和6年9月19日（木） 10時30分～11時30分

【開催場所】枚方市歯科医師会館会議室

【講師】（一社）枚方市歯科医師会 理事 竹安 正治

（公社）大阪府歯科衛生士会 会長 山口 千里

枚方市臨時職員 岸田 せい子

【研修内容】事業説明、啓発資料使用デモ（乳幼児の成長とお口の健康、幼児期から小学生の事故防止、幼児の食事とお口の健康、糖尿病と歯周病の関係、特定健診と歯とお口の健康、フレイルとオーラルフレイル）

【参加者】27名（看護師4名、保健師2名、管理栄養士11名、栄養士3名、歯科医師1名、歯科衛生士6名）

第2回

【開催日時】令和6年10月10日（木） 10時30分～11時30分

【開催場所】枚方市歯科医師会館会議室

- 【講師】（一社）枚方市歯科医師会 理事 内海 洋介
（公社）大阪府歯科衛生士会 会長 山口 千里
枚方市臨時職員 岸田 せい子
- 【研修内容】 前回の研修やガイドラインの復習、補足説明
グループワーク、参加者による指導デモ、質疑応答
- 【参加者】 20名（看護師5名、保健師1名、管理栄養士11名、栄養士2名、
歯科医師1名）
- 【意見交換の内容、事後評価】
- ・糖尿病と歯周病の双方向の関係について食事指導時に説明したい。
 - ・お食事の際に、食べこぼしやムせていないか、噛めているかなど、日々の変化にも注意していきたい。
 - ・歯周病やむし歯が、全身の健康に影響する事を周知していきたい。
 - ・多職種の方と情報交換ができ、参考になった。
 - ・フレイル予防にパタカラ体操やストレッチを取り入れようと思う。
 - ・実際にロールプレイを行い、栄養士の方が病気等について普段どのように説明しているかを聞く事ができ、勉強になった。
 - ・病棟勤務の看護師と話す機会ができ、入院患者の口腔管理の現状についても話が聞けたので、歯科医師としてアドバイスしていきたい。

イ) 堺圏域

第1回

- 【開催日時】 令和6年9月18日（水） 14時～15時
- 【開催場所】 堺市歯科医師会館会議室
- 【講師】（一社）堺市歯科医師会 向井 康尊
（公社）大阪府歯科衛生士会 山田 ますみ
（公社）大阪府歯科衛生士会 大西 静子
- 【研修内容】 8020推進アンバサダーの活動についてガイドラインに沿って説明、
オーラルフレイルについて、質疑応答
- 【参加者】 9名（看護師4名、保健師2名、管理栄養士3名）

第2回

- 【開催日時】 令和6年10月30日（月） 14時～15時
- 【開催場所】 堺市歯科医師会館会議室
- 【講師】（一社）堺市歯科医師会 向井 康尊
（公社）大阪府歯科衛生士会 山田 ますみ
（公社）大阪府歯科衛生士会 勝山 尚子
- 【研修内容】 オーラルフレイルの復習、グループディスカッション、
咬合圧検査のデモ、各グループより発表、意見交換
- 【参加者】 8名（看護師3名、保健師2名、管理栄養士3名）
- 【意見交換の内容、事後評価】
- ・参加者の歯科保健に対する認識や、啓発に対する心構えに大きな変化が見られた。
 - ・グループディスカッションをすることによって情報交換や意見交換など積極的におこなわれた。
 - ・今回の研修内容を市民の方々へ広められるよう、各就業所で活用してもらう。

ウ) 泉州圏域

第1回

- 【開催日時】 令和6年10月11日（金） 14時～15時
- 【開催場所】 岸和田市立保健センター3F会議室
- 【講師】（一社）岸和田市歯科医師会 副会長 西口 義則
（公社）大阪府歯科衛生士会 泉州支部支部長 大森 かずみ
（公社）大阪府歯科衛生士会 小池 典子

【研修内容】糖尿病と歯周病の関係、特定健診と歯とお口の健康①、特定健診と歯とお口の健康②、乳児（３歳～就学時）のお食事と歯とお口の健康

【参加者】22名（看護師3名、保健師6名、管理栄養士9名、栄養士1名、理学療法士1名、受付事務1名、歯科衛生士1名）

第2回

【開催日時】令和6年12月16日（月） 14時～15時

【開催場所】岸和田市立保健センター3F会議室

【講師】（一社）岸和田市歯科医師会 副会長 西口 義則
（公社）大阪府歯科衛生士会 泉州支部支部長 大森 かずみ
（公社）大阪府歯科衛生士会 小池 典子

【研修内容】乳児（１～３歳）のお食事と歯とお口の健康、
幼児期から小学生の事故防止、フレイルとオーラルフレイル、
乳幼児期からの食育とオーラルフレイル

【参加者】17名（看護師2名、保健師6名、管理栄養士6名、栄養士2名、受付事務1名）

【意見交換の内容、事後評価】

- ・歯科単独の研修がなかったので初めて聞くことも多く新鮮で役に立った、との意見があった。
- ・両親教室や生活習慣病予防教室等で今回の資料を活用してみる、高齢者で歯科受診をしていない方に地域サロンなどで啓発しようと思う等、前向きに活用してくださるという意見が多かった。
- ・1回目の研修を受けた後、特定健診時（140名）に希望者（70名）に対してLDHナガタ検査を行い、要注意者に対して歯科衛生士による歯磨き指導を実施されたとのこと。
- ・1回目の研修を受けた後、整形外科外来患者100名に対し歯科健診を定期的に受診しているかアンケート調査を実施し、歯科健診の重要性を説明し受診喚起を行われたとのこと。（アンケート結果：20代0%、30代25%、40代60%、50代68%、60代68%、70代73%、80代50%、90代0%）

5）8020推進アンバサダー養成研修会の参加者及びアンケート調査結果

参加者に対し申込時に職種の調査を行った。また、8020推進アンバサダー養成研修会后、アンケート調査を実施した。第1回、第2回研修会開催後ともに、調査項目はまったく同じ内容にて実施した。

（1）参加者の職種

表1 参加者の職種別人数（のべ人数）

職種	第1回		第2回		合計	
	人	%	人	%	人	%
看護師	19	18.4	14	16.1	33	17.4
保健師	19	18.4	20	23.0	39	20.5
管理栄養士	50	48.6	46	52.9	96	50.5
栄養士	4	3.9	4	4.6	8	4.2
理学療法士	1	1.0	0	0.0	1	0.5
事務	2	1.9	2	2.3	4	2.1
歯科医師	1	1.0	1	1.1	2	1.1
歯科衛生士	7	6.8	0	0.0	7	3.7
合計	103	100.0	87	100.0	190	100.0

表2 養成された8020推進アンバサダーの職種別実人数

職種	人	%
看護師	22	18.2
保健師	26	21.5
管理栄養士	57	47.1
栄養士	5	4.1
理学療法士	2	1.7
事務	1	0.8
歯科医師	1	0.8
歯科衛生士	7	5.8
合計	121	100.0

(2) アンケート集計結果

表3 アンケート回答者数

研修会	参加者 (人)	回答者 (人)	回収率 (%)
第1回	103	93	90.3%
第2回	87	83	95.4%
合計	190	176	92.6%

表4 研修内容の理解度について

	第1回		第2回		合計	
	人	%	人	%	人	%
よく理解できた	69	74.2	61	73.5	130	73.9
おおむね理解できた	24	25.8	21	25.3	45	25.6
どちらでもない	0	0.0	1	1.2	1	0.5
あまり理解できなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
理解できなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	93	100.0	83	100.0	176	100.0

表5 研修時間の適切さについて

	第1回		第2回		合計	
	人	%	人	%	人	%
短い	2	2.2	5	6.0	7	4.0
やや短い	23	24.7	22	26.5	45	25.6
適切	67	72.0	56	67.5	123	69.9
やや長い	1	1.1	0	0.0	1	0.5
長い	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	93	100.0	83	100.0	176	100.0

表6 今後、府民啓発の場で活かせる内容があったか

	第1回		第2回		合計	
	人	%	人	%	人	%
大いにあった	31	33.3	42	50.6	73	41.5
あった	60	64.5	39	47.0	99	56.3
どちらでもない	2	2.2	1	1.2	3	1.7
あまりない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
未回答	0	0.0	1	1.2	1	0.5
合計	93	100.0	83	100.0	176	100.0

表 7-1 要望・感想など（令和 4 年度）

要望	歯科に関するパンフレット・データの保存場所などをまた情報発信していただきたい。
	啓発時に府民向けに聞き取っていくアンケート等を検討していらっしやるのであれば教えて頂きたい。
	時間がもう少しあればもっとうれしかった。
	ガイドライン P. 6 はどんな子がむし歯になりやすいのか具体性が DM 内に少ない。
	子ども向けや福祉職員向けの啓発媒体ができれば良い。
	家でできるオーラルフレイルの対策についても教えた方が良い。
	大阪府栄養士会でも、是非講義していただきたいと思った。
	アンバサダー活動の問題点としてサポート体制についてもう少し話できればよかった。まずは、アンバサダー活動を知ってもらえるようにする。
	アンバサダーのサポートを再検討お願いしたい。
	言語聴覚学科、理学療法士、作業療法士、ケアマネージャー、薬剤師への啓発活動はどのようにお考えか。
	糖質は、糖類または糖分の多いお菓子類を指していると思えばよいのか。栄養学的には、糖質→糖質＝炭水化物+食物繊維を指す。
意見、感想	実際、健康相談からお口のことで相談する方は皆無で、あまり、健康＝口の意識がないと思う。私たち医療従事者と平行で、もっともっと教育の場面や企業など職場で積極的な 8020 推進が必要だと思う。
	資料リーフレット、ガイドラインでのポイント部分がとても分かりやすく、どのような場面で連携が取っていけるか、どのような声かけがよいのか実用性が高かった。
	今回、管理栄養士の地域活動部会へのみの参加だが、他の部会へも広がると良い。
	歯科医師さんから話を聞くことがなかったので勉強になった。1 時間では物足りず、あっという間だった。
	資料を管理栄養士から区民、市民の皆様に「食べる」を伝える場で活用させていただけるとのことで感謝する。
	乳児の場、高齢者介護予防事業で 7 月に活用できるよう準備する。
	非常に有意義だった。地域ケア会議でも歯科衛生士や言語聴覚士の方の助言は、栄養ととってもきれいな関連性があり、これからも勉強していきたいと思っている。
	有料老人ホームで訪問栄養指導を行っている。入居されている人が対象なので訪問歯科が来ているが、家族の意向で義歯の作成はしないなど、家族の意向が強い。栄養指導では、食べる速度や時間、自己摂取できるかなどホーム長やケアマネから聞き取りを行っている。その時に、口腔ケアの質問も取り入れるようにしている。自己摂取が難しいという方には口腔ケアも難しいので、補助が必要ということをお伝えしている。オーラルフレイルの話も絡めてこれからも栄養指導していきたい。

表 7-2 要望・感想など（令和 5 年度）

要望	栄養士として歯に問題がある方に指導する時に悩む。そのまま柔らかいものを勧めるのも違う気がし、だからといって硬いものを勧めるのもよくない気がする。どの程度の歯があればどの程度のものを勧めるか等、具体的指導が知りたい。
	上手な歯科のかかり方、かかりつけ医の見つけ方などを教えていただきたい。上手な受診へのつなげ方も知りたい。
	歯みがきに対して開口していただけない、拒否される場合の歯みがきや口腔ケアについて教えていただけるとありがたい。
	歯周病と高血圧との関連もあるか。
	他の事業との関係もあるので、1 回で完結する内容であれば参加しやすい。ぜひまた参加させていただきたい。
	新しいデータや情報などがあれば情報提供してもらえると嬉しい。
	歯科に関する勉強会が開催される時、情報提供をお願いしたい。
	もっとたくさんいろんなことが聞きたかった。
	発達に偏りのある子どもでも少しずつ慣れて受診できるような医療機関の情報や、外国籍の保護者対応可の医療機関の情報、パンフレット（むし歯予防）もあれば教えてほしい。
	保護者に配布する啓発物品を無料でいただけるとありがたい。

意見、感想	このような場があり、大変良いと思った。口腔について学ぶことも多く感謝。
	衛生士さんは相談の場を持っておられ、羨ましい。
	歯科について考える時間を少しでも増やし、啓発活動につなげたい。
	歯みがきのタイミングは参考になった。
	オーラルフレイルと社会参加との関係を改めて認識できた。
	他方面からのオーラルフレイルをみることができた。
	歯科受診の大切さを伝えていきたい。
	フレイルと糖尿病関連についてはより深く理解が深まった。
	丁寧な説明で非常にわかりやすかった。今まで高齢者対策をしていたが、幼児期の歯の大切さもお話しできそう。
	とても参考になる講義だった。院内でのマウスケアの重要性や、安易な絶食は脳機能のためにも良くないことを周知させ、QOLの向上に繋がる働きをしていく。
	8020を達成するためには、生涯にわたる歯と口の健康づくりが重要であることを、あらためて認識することができた。歯と口が健康であって、その上に食生活が豊かに営まれるのであり、管理栄養士として一人でも多くの人が8020を達成できる社会を望み、またそのお役に立つことができればと考える。
	むし歯や歯周病が全身の健康状態に及ぼす影響を理解できた。職場の健診時や施設利用者の口腔ケアに活かしていきたい。
	こどもに関してはよく聞かれることでよく分かった。成人では伝え方が分かったので活かしていきたい。
	2回目のみの参加だったが、復習していただきよく分かった。
	吹田市が歯に関して力を入れている様子を知り驚いた。
	様々な職種の方がいらして、いろんな困りごとがあり、それに対して適切な回答をし頂き、今後の仕事に役立つことができると思った。資料もコピーして使用できるとのことなので、歯科衛生士のいない場面で使用させていただく。
	リーフレット、動画を用いて活用していく。在宅歯科ケアステーションの情報もありがたかった。様々な場で活躍されている皆様のお話をきくことができ、勉強になった。
	最後に話し合いがあり、色々な情報を聞くことができて良かった。
	噛む体験もできて楽しかった。乳幼児期・成人期・高齢期のデモや歯科衛生士のデモが分かりやすかった。
	ロールプレイやグループワークで理解を深めることができた。歯科医師、歯科衛生士から直接話を聞ける機会は貴重でとてもありがたく感じた。疑問に思っていたことも相談でき、大変勉強になった。今後の指導に活かしていきたい。
	歯科（口腔）といった限定したテーマでグループワークできたのがよかった。歯科衛生士、管理栄養士、保健師、色々な職種、色々な視点、切り口から歯（口腔）のことを話し合うことで新たな視点や課題に気づくことができた。また次回開催も期待している。
	ロールプレイでは様々な事業の例を聞かせていただけて勉強になった。意見交換でも他自治体の取り組みを聞けてよかった。またこのような研修会を実施してほしい。
	相談に来られる住民も多いので、今後、今日いただいた資料を活用させていただきたい。
	歯科の節目健診の受診率を上げるよう、がん検診や教室でも周知していく。
	「かむ力」について今後勉強したい。

表 7-3 要望・感想など（令和6年度）

要望	食後に歯みがきする時間（時刻）はどれくらいか。
	現在、多職種で取り組むことが増えている。歯科から栄養士へ期待されていることなども教えていただければありがたい。
	口腔についての基本的な内容の研修かと思っていた。自身が口腔に関しての知識がないので栄養指導の場面で口腔についての説明ができず、そのような講習会も開催していただければ嬉しい。定期的にこのような研修があればいいと思う。
	8020達成率を大阪府内で市別で見るとどうなるのか気になった。
	ひとつひとつの内容が興味深いものばかりで、できればもう少し深い内容を聞きたいと思った。2回目の際にぜひ深い内容を教えてもらえると嬉しい。
	例えばフレイルのプリント等だけで配布したいとき、「バランスの良い食事」とか「口のささいな衰え」など、具体的な内容がもう一枚あれば良いと思った。

意見、感想	食生活に歯はとても重要だと思う。
	2歳の子もいるため、とても勉強になった。
	資料やチェックシートがダウンロードできるのが良かった。説明のときに分かりやすいと思う。持ち帰って使える資料に加えて解説編もあり、実際に活用しやすい構成だと思った。
	今後、乳幼児健診やDMセミナーで今回の話や資料を参考にさせていただきたい。
	自分が高齢期になり参考になることが沢山あった。
	教えてもらった内容がとてもわかりやすく、どのように伝えたらいいのかということも本当に勉強になった。楽しく学ばせていただいた。
	口の大切さを再認識することができた。地域の方々に啓発していきたい。
	エビデンスに基づいており、具体的な話で実践できることが多かった。具体的な数字がありとてもわかりやすく、数字で示していただいたことで、具体的に話の中に取り入れていける。
	知識が不十分なところが多いので、基本的なところの説明をしていただいて勉強になった。
	歯科に特化した研修への参加は初めてだったが、業務にも日頃の生活にも役立つ内容ばかりでとても充実していた。ぜひ職域で共有したい。
	両親教室や生活習慣病予防教室等で今回の資料を利用してみようと思う。
	オーラルフレイルのこともお聞きしたかったので次回が楽しみ。
	普段保健所に関する仕事をしていて、栄養指導で保健所に行くことがあるので、その時におやつを食べ方についてお話できたらいいなと思った。
	高齢者の方と関わる中で、歯科受診をされていない方、歯みがきをされていない方も多くいた。地域サロン等で「こういう話を聞きましたが…」と少しずつでも声掛けをしていけたらと思う。
	他職種の方々の発表を聞いてとてもためになった。グループワークでお口の知識を得られ良かった。
	口と全身の健康は相互関係であること。他職種を通してまずは対象の健康状態や背景を知る、気付くことが大切であると学んだ。
	栄養士として日頃は元気な方とのかかわりしかないので、今後は介護を必要としている方への接し方を勉強していきたい。
	口と全身の関連など口だけにとどまらない重要なお話が聞けていろいろと勉強になった。
	口腔の状況でフレイルがどのようになるかということを知れた。
	専門家から話を聞ける機会は改めて貴重だと思った。疑問に持ったことが無かった事柄にも成行があることが分かり、面白いと感じるのと、腑に落ちる話が聞け、大きな学びを得た。
	正しい姿勢で食べることは誤嚥を防ぐためだけだと思っていたが、それだけでなく、歯並びにも関わるということを知って良かった。お口の体操等を自分でも行って口の筋力をつけようと思った。今回も色々ためになるお話だった。
	舌の位置が重要と教えていただき良かった。離乳食の目的、一口量の学び、改めて意識した。
	特定健診やがん検診の待ち時に、歯とお口の健康について啓発をしていきたいと思った。リーフレットもまとまっており、ライフステージ別に参考にしやすい。活用させていただきたい。
	誕生から各ライフステージ毎のお口と身体の健康づくり、その都度その都度啓発することの大切さを改めて学ぶことができた。
	乳幼児健診、住民健診等の事業で本日の学んだことを活用していきたい。
	姿勢と舌や歯すべてにおいて、足をしっかりつけることが大切だという事がとても理解できた。これからも口腔ケア、歯科受診の大切さを患者様に伝えていきたい。
	舌の使い方が歯並びに影響するというのはあまり知らないと思うので、啓発が大切だと思った。
	乳児期の離乳食の与え方の重要性がよく理解できた。
	食事時の姿勢、ベロの位置、離乳食の食べ方など大切なことが分かった。(歯並びにかかわること)
	口腔ケアをさぼりがちになる小～大学生にも正しい情報を伝えていくことが大事だなと思った。
	特定健診を受けに来られる患者様へアンケートを取って次の研修会までにデータとして提出したい。認知症の方が歯の本数が少ないというのも少し思い当たる気がする。

6) 8020推進アンバサダー活動状況調査の実施

令和5、6年度に、令和4、5年度に養成した8020アンバサダーに対し、活動状況調査票をお送りし、回答を依頼した。

令和5年度調査と、令和6年度調査の令和5年度養成者への調査項目は、養成後約1年間の活動を調査すべく同じ項目としたが、令和6年度調査の令和4年度養成者への調査項目については、養成後約1年～2年の間にどのように活動が変化しているかを確認するため、調査項目や回答の選択肢を一部追加した。

- ・調査期間 令和5年度調査 令和5年10月～12月
令和6年度調査 令和6年10月～12月

(1) 回答者の人数と職種について

表8 調査実施人数と回答者数

養成年度	調査年度	養成者 (人)	調査送付 (人)	回答人数 (人)	回答率 (%)
R4年度	R5年度	12	12	12	100.0
	R6年度	12	12	7	58.3
R5年度	R6年度	46	24	8	33.3

表9-1 回答者の職種（令和4年度養成者）

令和4年度養成者	令和5年度調査 (n=12)		令和6年度調査 (n=7)	
	人数	%	人数	%
看護師	2	16.7	2	28.6
保健師	1	8.3	1	14.3
管理栄養士	9	75.0	4	57.1
合計	12	100.0	7	100.0

表9-2 回答者の職種（令和5年度養成者）

令和5年度養成者	令和6年度調査 (n=8)	
	人数	%
看護師	0	0.0
保健師	3	37.5
管理栄養士	5	62.5
合計	8	100.0

(2) 啓発資料の使用の有無と今後の使用の希望等

表 10－1 啓発資料を府民向けに使用したか〔令和 4 年度養成者（令和 5 年度調査）〕

令和 4 年度養成者	令和 5 年度調査 (n=12)	
	人数	%
使用した	8	66.7
使用していない	4	33.3
合計	12	100.0

表 10－2 啓発資料を府民向けに使用したか〔令和 4 年度養成者（令和 6 年度調査）〕

令和 4 年度養成者	令和 6 年度調査 (n=7)	
	人数	%
前回の調査前に引き続き調査後も使用した	4	57.1
前回の調査前は使用していなかったが調査後使用した	1	14.3
前回の調査前は使用したが調査後は使用していない	0	0.0
まったく使用していない	2	28.6
合計	7	100.0

表 10－3 啓発資料を府民向けに使用したか〔令和 5 年度養成者（令和 6 年度調査）〕

令和 5 年度養成者	令和 6 年度調査 (n=8)	
	人数	%
使用した	1	12.5
使用していない	7	87.5
合計	8	100.0

表 11－1 啓発資料を今後使用したいと思うか（令和 4 年度養成者）

令和 4 年度養成者	令和 5 年度調査 (n=12)		令和 6 年度調査 (n=7)	
	人数	%	人数	%
ぜひ使用したい	4	33.3	4	57.1
使用したい	8	66.7	3	42.9
どちらでもない	0	0.0	0	0.0
あまり使用したくない	0	0.0	0	0.0
使用したくない	0	0.0	0	0.0
合計	12	100.0	7	100.0

表 11－2 啓発資料を今後使用したいと思うか（令和 5 年度養成者）

令和 5 年度養成者	令和 6 年度調査 (n=8)	
	人数	%
ぜひ使用したい	3	37.5
使用したい	4	50.0
どちらでもない	1	12.5
あまり使用したくない	0	0.0
使用したくない	0	0.0
合計	8	100.0

表 12－1 同職種内で研修内容を共有したか（令和 4 年度養成者）

令和 4 年度養成者	令和 5 年度調査 (n=12)		令和 6 年度調査 (n=7)	
	人数	%	人数	%
共有した	9	75.0	6	85.7
共有していない	3	25.0	1	14.3
合計	12	100.0	7	100.0

表 12－2 同職種内で研修内容を共有したか（令和 5 年度養成者）

令和 5 年度養成者	令和 6 年度調査 (n=8)	
	人数	%
共有した	7	87.5
共有していない	1	12.5
合計	8	100.0

表 13 同職種内で研修内容を共有した方法

グループの会議、定例会議、研修会、伝達研修、メールにて報告、資料の共有。
栄養士会の理事会で研修会の目的と申し込みについて説明。
所轄の保健所の栄養士にも情報案内としてメールで共有。
復命の回覧、保健師会議での共有等。
受講報告と資料の回覧にて共有。
まちの保健室相談員研修で相談員（看護職）に説明し、使用を促した。
まちの保健室の現場へ行き、その日の担当相談員へ直接共有。
地域公開講座やまちの保健室にて、医師、歯科医師、薬剤師、看護職、栄養士、歯科衛生士などと共有。

(3) 啓発資料を使用した者の具体的な使用状況

表 14 啓発資料を府民向けに使用した者

養成年度	調査年度	啓発資料を使用した者
R 4 年度	R 5 年度	8 名 (表 10－1)
	R 6 年度	5 名 (表 10－2) (※)
R 5 年度	R 6 年度	1 名 (表 10－3)

※前回の調査前に引き続き調査後も使用した (4 名) と、前回の調査前は使用していなかったが調査後使用した (1 名) の合計

表 15－1 どの啓発資料を使用したか (令和 4 年度養成者) (複数回答可)

令和 4 年度養成者	令和 5 年度調査 (n=8)		令和 6 年度調査 (n=5) (※)	
	人数	%	人数	%
乳幼児 (1～3 歳) の成長とお口の健康	3	34.5	4	80.0
幼児期から小学生の事故防止	1	12.5	3	60.0
幼児 (3 歳～就学前) の食事と歯とお口の健康	2	25.0	3	60.0
糖尿病と歯周病の関係	4	50.0	3	60.0
特定健診と歯とお口の健康①	4	50.0	4	80.0
特定健診と歯とお口の健康②	4	50.0	4	80.0
フレイルとオーラルフレイル	7	87.5	4	80.0

※令和 5 年度調査以降の使用状況を回答

表 15－2 どの啓発資料を使用したか (令和 5 年度養成者) (複数回答可)

令和 5 年度養成者	令和 6 年度調査 (n=1)	
	人数	%
乳幼児 (1～3 歳) の成長とお口の健康	0	0.0
幼児期から小学生の事故防止	0	0.0
幼児 (3 歳～就学前) の食事と歯とお口の健康	0	0.0
糖尿病と歯周病の関係	0	0.0
特定健診と歯とお口の健康①	0	0.0
特定健診と歯とお口の健康②	0	0.0
フレイルとオーラルフレイル	1	100.0

表 16－1 どのような形式で啓発資料を使用したか (令和 4 年度養成者) (複数回答可)

令和 4 年度養成者	令和 5 年度調査 (n=8)		令和 6 年度調査 (n=5) (※)	
	人数	%	人数	%
紙媒体	8	100.0	5	100.0
データ形式	1	12.5	0	0.0

※令和 5 年度調査以降の使用状況を回答

表 16－2 どのような形式で啓発資料を使用したか (令和 5 年度養成者) (複数回答可)

令和 5 年度養成者	令和 6 年度調査 (n=1)	
	人数	%
紙媒体	0	0.0
データ形式	1	100.0

表 17-1 使用した資料の加工の有無について（令和4年度養成者）（複数回答可）

令和4年度養成者	令和5年度調査(n=8)		令和6年度調査(n=5) ^(※)	
	人数	%	人数	人数
そのまま使用	5	62.5	5	100.0
加工して使用	3	37.5	0	0.0

※令和5年度調査以降の使用状況を回答

表 17-2 使用した資料の加工の有無について（令和5年度養成者）（複数回答可）

令和5年度養成者	令和6年度調査(n=1)	
	人数	人数
そのまま使用	0	0.0
加工して使用	1	100.0

表 18 使用した資料の加工の方法について

クリニックで歯周病の関連する部分を切り取り、指導用紙に使用。
「赤ちゃんの歯磨き」の配布資料にチラシの内容を引用。
クリニックでの栄養指導、企業での書面指導、介護予防の講座にて使用。
オーラルフレイルの部分を切り取りスライドとして使用。

表 19-1 具体的にどのような場面で使用したか〔令和4年度養成者（令和5年度調査）〕

職種	活動内容	場所	対象者	人数
保健師	相談員研修	—	看護職など	—
保健師	まちの保健室	まちの保健室各会場	全世帯	—
看護師	まちの保健室	まちの保健室各会場	成人	複数
看護師	まちの保健室	まちの保健室各会場	中高齢者	数十名
管理栄養士	高齢者向け男性料理教室	地域の文化会館	高齢者男性	12名
管理栄養士	個別指導	クリニック	糖尿病患者、高齢者等	—
管理栄養士	大阪市内子育てプラザでの啓発	大阪市内子育てプラザ	0～3歳児の保護者	—
管理栄養士	守口市子育て支援ファミリーサポーター養成講座	守口市中部コミュニティセンター	ファミリーサポーター養成講座受講者	6名
管理栄養士	門真市歯科健康展	門真市保健センター	食育ゲームに参加した子どもの保護者	45名
管理栄養士	個別栄養指導	クリニックの栄養相談室	高齢者	10名
管理栄養士	書面指導	書面を郵送	企業の社員	70名
管理栄養士	介護予防の講座	大阪市内の老人の憩いの家等	高齢者	100名

表 19－2 具体的にどのような場面で使用したか〔令和４年度養成者（令和６年度調査）〕（※）

職種	活動内容	場所	対象者	人数	回数
保健師 看護師	まちの保健室 （R5 年度）	大阪府内 14 ヲ所	全世代の 府民	1,842 名	192 回
保健師 看護師	まちの保健室 （R6 年度 4～9 月）	大阪府内 14 ヲ所	全世代の 府民	773 名	96 回
保健師 看護師	まちの保健室 イベント	大阪市内 4 ヲ所	全世代の 府民	207 名	4 回
保健師 看護師	地域公開講座	貝塚市、堺市	全世代の 府民	86 名	2 回
管理栄養士	守口市子育て支援フ ァミリーサポーター 養成講座	守口市中部コミュニ ティセンター	ファミリー サポーター 養成講座受 講者	－	1 回
管理栄養士	門真市歯科健康展	門真市 保健センター	参加者全般	－	1 回
管理栄養士	地域の講習会	－	－	－	－

※令和５年度調査以降の使用状況を回答

表 19－3 具体的にどのような場面で使用したか〔令和５年度養成者（令和６年度調査）〕

職種	活動内容	場所	対象者	人数	回数
保健師	オーラルフレイル 対策事業	市役所内、訪問先	75 歳以上の 市民	8 名	1 回
保健師	低栄養予防改善事業	市役所内、訪問先	75 歳以上の 市民	27 名	1 回

表 20 受講２年目を迎え、新たに取り組んだ内容や、活動の広がりを感じた場面について（※）

歯の大事さを栄養に絡めて話すことが増えた。
地域公開講座やまちの保健室など府民啓発において 8 0 2 0 推進の定着に繋がっている。
意図的に歯科健診の受診の有無などを聞き、8 0 2 0 を説明する。
地域公開講座、まちの保健室での相談の中で 8 0 2 0 推進に向けて啓発活動を行った。
健康長寿社会に向けた啓発においては府民へ 8 0 2 0 推進の意味、自身の歯の残存数、歯の定期健診などを啓発周知することとなっている。
貝塚市の地域公開講座終了後、貝塚市でのまちの保健室での歯科衛生士のコーナーを設けることが出来、相談者より好評を得ている。今後も 8 0 2 0 推進に向けて周知していく。
特に無いが、歯科健康展で地区歯科医師会のみなさんも保健センターのみなさんも 8 0 2 0 推進アンバサダーの資料や活動をご存知なく悲しかった。

※令和６年度調査の令和４年度養成者のみ回答

(4) 啓発資料を使用していない者の理由

表 21 啓発資料を府民向けに使用していない者

養成年度	調査年度	啓発資料を使用していない者
R 4 年度	R 5 年度	4 名 (表 10－1)
	R 6 年度	2 名 (表 10－2) (※)
R 5 年度	R 6 年度	7 名 (表 10－3)

※前回の調査前は使用したが調査後は使用していない(0名)と、まったく使用していない(2名)の合計

表 22－1 啓発資料を使用していない理由(令和4年度)(複数回答可)

令和4年度養成者	令和5年度調査(n=4)		令和6年度調査(n=2)	
	人数	%	人数	%
活動内容に合わない	0	0.0	0	0.0
活動の対象者に合わない	1	25.0	0	0.0
歯科専門職でない職種が使用するには難しい	0	0.0	0	0.0
使用したかったが準備が間に合わなかった	1	25.0	0	0.0
その他	2	50.0	2	100.0

表 22－2 啓発資料を使用していない理由(令和5年度)(複数回答可)

令和5年度養成者	令和6年度調査(n=7)	
		人数
活動内容に合わない	2	28.6
活動の対象者に合わない	0	0.0
歯科専門職でない職種が使用するには難しい	0	0.0
使用したかったが準備が間に合わなかった	2	28.6
その他	3	42.8

表 22－3 啓発資料を使用していない理由(その他の内容)

歯科医師から講話があったため。
歯科衛生士と組むことが多かったため。
使用するような活動(事業依頼)が無かったため。
準備はしたが使用する機会がなかった。
特定保健指導業務の委託元より、委託元指定の資料以外を使用しないように求められているため、口頭で啓発資料の内容を盛り込むようにしている。
地区歯科医師会主催の機能的口腔ケアでいただいたパンフレットを使用したため。

(5) その他意見、要望等

表 23 その他意見、要望等（自由記載欄）

要望、 提案	啓発資料を送付してほしい（当機関で印刷している）。
	もう少し、各地区の歯科医師会や保健センターのみなさんも協力していただけるとありがたい。拡大コピーにて展示すると、イベントに参加された方はご覧になっている。
	圏域ごとでも良いので、地域の歯科医師、歯科衛生士など多職種と健康長寿社会に向けた具体的取組を検討する機会などを企画いただけるとありがたい。
	食と歯は切っても切り離せない関係であり、双方の知識の習得は今後とも是非継続していただきたい。
	今年度も受けたかったが、平日に、しかも遠方で2回セットを両方受けるのが難しいので、Zoom や YouTube 等で研修を受けやすくしていただきたい。
	もっと歯科医師や歯科衛生士が地域に出向いて啓発をすれば、もっと専門性が発揮できる。
	対象者が違うので同職種内の共有は必要。多職種との共有ができればなお良い。
意見、 感想	研修会は大変勉強になった。また、資料を使用させて頂けることは大変有難い。
	ご家族様方からは、ぼーっと待つより、待っている間に我が子の成長とおやつの内容やおやつと虫歯の話が聞けて良かったとの声を伺うことができ、啓発資料があり説明が出来たことが良かった。
	学びの機会いただきありがたい。
	今活動を伝えるホームページを作成中で、その中で情報発信をしたいと思っている。
	取組をもっと周知したい。
	歯科医院、歯科衛生士の方とのコラボイベントを実施してみたい。
	歯科との連携は今後の長寿社会における重要なことだと感じている。今後も協働し取り組みを進めていきたいと感じている。
	栄養に関する内容が多い時は、その内容と繋がるように歯科受診促進を入れてきた。
	日本歯科医師会や日本歯科衛生士会が発行しているパンフレット等も集団教育、地域全体の啓発に活用している。
	どこまで研修等を受けたら、アンバサダーとして資料を用いていいのかがはっきりしなかったので、使えていなかった。
	歯科健康展でさせて頂いたが、思いのほか、歯科医師会の先生方の反応が薄くびっくりした。
	今年度は2連続必須で、1回行けないと行けなかったので行っていない。

7) アンケート調査結果と活動調査結果まとめ

8020推進アンバサダー養成研修会の参加者（のべ人数）の職種は、周知を主に（公社）大阪府看護協会、（公社）大阪府栄養士会の2団体に依頼をしたこともあり、管理栄養士（50.5%）、保健師（20.5%）、看護師（17.4%）が多かった。令和5年度以降は事務職や理学療法士等の職種の方も参加された。

研修会後のアンケートでは、研修内容について「よく理解できた」「おおむね理解できた」と答えた者が99.5%、今後、府民啓発の場で活かせる内容が「大いにあった」「あった」と答えた者が97.8%と、内容については好評であった。ただ、研修時間の長さについては「適切」と答えた者が69.9%であったものの、「やや短い」「短い」と答えた者が29.6%にのぼった。

令和5年度、令和6年度に実施した8020推進アンバサダー活動状況調査について、令和5年度調査では前年度養成者12名に回答をいただいた。また、令和6年度調査では令和4年度養成者7名と、令和5年度養成者8名より回答をいただいた。

啓発資料の使用状況について、令和4年度養成者12名のうち、令和5年度調査までに啓発資料を使用したと答えた者は8名（66.7%）だったが、令和5年度養成者8名のうち、令和6年度調査までに啓発資料を使用した者は1名（12.5%）にとどまった。また、令和5年度調査において、令和4年度養成者7名のうち、令和5年度調査～令和6年度調査の間に啓発資料を使用したと回答した者は5名（71.4%）で、その内の4名が前年度より継続して使用していると回答した。また、啓発資料の使用状況としては、養成後1年の間では「フレイルとオーラルフレイル」の使用が多かった。

令和6年度調査において、令和4年度の養成者に対してのみ、受講後2年目を迎え新たに取り組んだ内容や、活動の広がりを感じた場面について調査をしたところ、「まちの保健室に歯科衛生士のコーナーを設けることができ相談者より好評を得ている」等、活動の広がりを感じる例が上がった。一方で、地域の健康展にて啓発する際、地域の歯科医師会が本事業について知らなかった等の意見もあった。

啓発資料を使用していない理由としては「その他」が最も多く、その他の具体的な内容としては、歯科医師から講話があった、歯科衛生士と組むことが多かったなど、活動の場に歯科専門職が同席していたことが理由に上げられた。また、内容や対象者に合わず使用する機会がなかった、活動の委託元指定の資料を使用する必要があった、などの理由もあった。

啓発資料を今後使用したいと思うかという問にはほぼ全員が「ぜひ使用したい」もしくは「使用したい」と回答していた。

3. 3年間のまとめ

本事業は、府民の健康づくりに関わる保健医療関係者を対象に研修会を行い、保健医療関係者を「8020推進アンバサダー」として養成し、様々な健康づくりの取組と連携した歯科の啓発を促進することにより、府民の歯科口腔保健の意識向上をはかる目的で実施した。3年間で養成された8020推進アンバサダーは実人数は121名だった。

第1回、第2回の研修会を受講したのべ人数としては190名で、研修会後のアンケートに回答いただいたのは176名だが、内172名(97.8%)の者が、今後、府民啓発の場で活かせる内容が「大いにあった」もしくは「あった」と回答している。

また、第1回研修後、特定健診の際に希望者(70名)へ歯周病の簡易検査を行い、要注意者へ歯科衛生士の歯磨き指導を実施されたり、整形外科外来の患者(100名)に対し定期的な歯科健診を受けているかアンケート調査を行い受診喚起を実施されるなど、第1回研修会後に早速活動をし、第2回研修会時に結果を報告された例もあり、研修に参加された方の意欲の高さがうかがえた。

令和5、6年度に実施した8020推進アンバサダー活動状況調査の結果によると、令和4年度の研修会受講後より継続して歯科の普及啓発を行っている方がおられた。また、本事業をきっかけにまちの保健室に歯科衛生士のコーナーが設けられ相談者から好評を得ているなどの成果も上がっており、多職種の活動と絡めた歯科保健の普及啓発が広がっていると考えられる。

一方で、地域の健康展などで8020推進アンバサダーが普及啓発を実施する際に、もう少し歯科医師会や保健センターからの協力が欲しかった等の意見もあり、地域の歯科関係者への周知等についてももう少し配慮ができた可能性がある。

また、研修会参加後1年間に啓発資料を使用していない方が11名(55.0%)、2年間でもまったく使用されていない方も2名(28.6%)おられ、その理由については、活動内容に合わない、活動対象者に合わない、歯科専門職とともに活動した、別の資料を使用する必要があった、などが挙げられた。ただし、啓発資料を今後使用したいかという問いに対しては、活動調査で回答いただいたほぼすべての方が「ぜひ使用したい」もしくは「使用したい」と回答しており、啓発資料が使用できない場合でも口頭で歯科保健の内容を交えるなどの工夫をされた方もおられた。

研修内容や啓発資料については「役立つ」「使用したい」という意見が多く、実際の活動においても成果がみられた一方で、普及啓発の場での歯科関係者等との連携面で課題が残る結果となった。また、啓発資料を使用するかについては、8020推進アンバサダーそれぞれの普段の活動内容によってあまり機会が設けられない場合もあるようだが、啓発資料を使用したいとの回答は多いため、今後、アンバサダーの活動について歯科関係者との連携等の面で支援ができるよう、地域の歯科関係者へ本事業について引き続き周知を行う必要があると考える。